中学歴史プリント（書き取り）
平安時代 No.4

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／22

1. 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？
2. 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
3. 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？
4. 天皇が幼少の時に代わって政治を行い、天皇を補佐する役割を持つ官職を何という？
5. 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？
6. 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？
7. 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
8. 894年に菅原道真の意見で停止され、その後の国風文化の発達につながった、中国へ使節を送る制度の停止を何という？
9. 平清盛が日宋貿易を推進するために修築した、兵庫県の港を何という？
10. 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？
11. 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の后は誰？
12. 平安時代後期、阿弥陀如来や極楽浄土の世界を絵画・彫刻・建築で表現した美術を何という？
13. 平安時代初期まで、日本が中国（唐）へ文化や制度を学ぶために派遣した使節を何という？
14. 平安時代、父・道長の別荘を寺院に改め、宇治に平等院鳳凰堂を建立した人物は誰？
15. 比叡山で修行を積んだ僧たちが鎌倉時代に開いた、新しい仏教の宗派の総称を何という？
16. 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？
17. 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？
18. 平安時代に瀬戸内海地方で海賊を率いて反乱を起こした人物は誰？
19. 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？
20. 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？
21. 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？
22. 源氏物語が生まれた当時の、貴族の感性を反映した日本独自の華やかな文化を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「平安時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.4 平安時代

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。	中尊寺金色堂	□
2	藤原道長は、娘たちを次々と天皇や皇太子の后とすることで、揺るぎない地位を築きました。	藤原道長	□
3	藤原氏は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。	藤原氏	□
4	摂政は天皇が幼い間に代わって政務を行い、天皇が成人した後も補佐する役割として「関白」が置かれました。	摂政	□
5	かな文字は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。	かな文字	□
6	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。	紫式部	□
7	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしました。	東北地方	□
8	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。	遣唐使廃止	□
9	その要衝として、現在の兵庫県神戸市にある大輪田泊を修築しました。	大輪田泊	□
10	空海は遣唐使として唐へ渡り、恵果から密教の教えを授かりました。	空海	□
11	藤原定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。	藤原定子	□
12	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。	浄土教美術	□
13	遣唐使は、天皇の命を受けて唐へ派遣された公式の外交使節団です。	遣唐使	□
14	藤原頼通は、権力の絶頂期にあった藤原道長の息子です。	藤原頼通	□
15	これが鎌倉新仏教と呼ばれる一連の宗派です。	鎌倉新仏教	□
16	道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の大宰府へ左遷されました。	大宰府	□
17	清盛は日宋貿易を積極的に進め、経済的な力を高めました。	平清盛	□
18	藤原純友は、瀬戸内海を拠点とする海賊のリーダーとして勢力を持ち、朝廷に対して反旗をひるがえしました。	藤原純友	□
19	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。	藤原道長	□
20	醍醐天皇は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。	醍醐天皇	□
21	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。	随筆	□
22	かな文字の発達により、『源氏物語』や『枕草子』などのすぐれた文学作品が生まれました。	国風文化	□

言えなかった用語ノート